

(第77号)

The School Health (No. 77)

昭和44年5月1日発行

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

可児 重一

東京都港区芝西久保
明舟町10

電話(501)3785

振替口座東京 98761

頒価1部35円(送料共)

学校保健

財団法人 日本学校保健会会報

昭和43年度、わたくしは、ご招待を受けて各地の学校保健の集會に出席した。どの集會においても、学校保健・安全の問題がひじょうに熱心に盛り上りを見せ、研究が深められていることに、大いに心強さを感じたことであつた。かつては条件整備のための陳情型の論議が多く行なわれたのであつたが、この頃は相共に話し合い少しでも研究を進めたいという空

学校保健行政の動向

文部省体育局学校保健課長 田健一

省の全国大会も42年度の愛媛大会から「研究型」を全面的に打ち出したのであるが、今後このような方向に推進されることを祈っている。

学校における学校保健の条件整備は、主として行政上のことである。その条件整備のための具体的な問題は、かねてから数多く出されている。たとえば、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の勤務、待遇に関する問題、最近、とくに要請の強い専門医の問題を中心とした学校医制度そのものに関する問題、養護教諭、保健

は、健康診断のあり方、精密検査をどのように学校保健の分野としてと

が行なわれており、さらに第3部会においては、「学校環境衛生の維持改善」の問題として、さきに昭和39年に保健体育審議会から答申された学校環境衛生の基準について、現在の実情から見ての内容の改善と、基準を実施にうつすための方策、公害と学校保健等についての審議が進められていた。委員は、学校医、専門医、学校歯科医、学校薬剤師、公衆衛生関係者、大学教授、校長、養護教諭、保健主事、地方教育行政関係者等27名をお願いして、(重複して2部会を担当している方もおられるが)それぞれ3部会に分属して頂いている。昨年の12月から合同審議、各部会審議と、月2、3回並行して熱心に審議して頂いているが、いずれの部会も、問題の重要性からじっくり徹底的に検討するという構えであつて、立派な答申を頂けることを期待している。

その他明年の1月から中学校の「保健指導の手びき」に着手し、小学校の場合と同様に順次指導資料等の作成を進める予定である。

次に、新年度の課程は、昭和46年度から順次実施される小学校、中学校、高等学校の新学習指導要領に備えるためのことである。

前年度から着手し、進行中のものは小学校の「保健指導の手びき」の編集である。これは、教科学習以外の学校における日常の保健指導のあり方の参考を供しようとするもので、あわせて学級担任、養護教諭その他学校保健関係の職員のもので役割も明らかにしたいと考えている。前記審議会の委員の場合と同じように、保健関係、学校関係の各方面の方々32名をお願いして検討を進めている。この手びきは、明年の3月には刊行する予定である。

本号内容

- ◆ 新年度の学校保健行政の動向
- ◆ 第19回学校保健大会の構想
- ◆ 第1回協議大会による陳情
- ◆ 第2回協議大会要項
- ◆ 書見台による近視予防実験
- ◆ 離島における学校歯科活動
- ◆ 本会役員名簿

教育の目的は、人格の完成及び社会の平和を成すこととして、個人の価値と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、自主的精神を充ち、心身の健全な育成を期し、国民の育成を期し、健康な国民の育成を期し、教育基本法)

第19回

全国学校保健研究大会の構想

鹿児島県大会実行委員会

すでに19回を迎える全国学校保健大会は、学校福祉三法の制定をはじめ、わが国の学校保健振興に大きく貢献してきたのであるが、それらの施策を全国津々浦々まで浸透させ、地域の実状に即応した対策を確立するためには、今後に残された問題点も多く、関係者の研究と努力に待たなければならぬところである。

この意味において、第19回鹿児島大会は児童生徒の健康生活に直面した実践的研究協議により、わが国の学校保健の水準を向上させるべく、第17回愛媛大会、第18回岐阜大会の性格を踏まえ、研究大会として開催することになっている。

1、大会の標題

近代社会を明るくたくましく生きぬく児童生徒の育成をめざして

近代社会の発展をもたらした人間のえい知は生活尊重、人間尊重あるいは生活尊重を、人間生活の基本的立場に位置づけているが、児童生徒の日常における健康・安全生活は、必ずしもじゆうぶんであるとはいえない実情である。それに加えて、いちじるしい文化の発展にともなうひずみは、児童生徒の健康・安全生活にあらたな脅威を与えつつある。

このために、本大会においては上記課題をかかげ、過去の大会の成果のうえに、学校現場における推進方策を研究し、学校保健の発展を期したい。

2、研究の進めかた

上記課題を達成するために、10領域47班を編成して班別研究会を行ない、班別研究会の横の連絡を

図り、共通の問題を解決するため領域別研究会を持つことにしている。

第1領域 学校保健計画と組織活動 (1~6)

第2領域 保健教育 (7~12)

第3領域 保健管理と疾病予防 (13~25)

第4領域 学校歯科衛生 (26~27)

第5領域 学校環境衛生 (28~31)

第6領域 学校安全 (32~35)

第7領域 精神衛生 (36~38)

第8領域 へき地学校保健 (39~40)

第9領域 特殊教育諸学校(学級)の学校保健 (41~44)

第10領域 体格、体力の向上 (45~47)

(1) 班別研究会

本大会の参加者は各都道府県・指定都市の代表として参加していただくことになっているので、すべての参加者がかねての研究や実践の成果について、じゆうぶん研究協議できるよう47班にわけ、1つの班の人数を60名程度として運営することにした。

班別研究会における研究発表者については、最近3回の大会で発表した課題の割り当ては避けるようにしたが、特別に発表していただきたい課題については、同一課題であっても校種について配慮した。班別研究会は大会2日目の約5時間30分をあてているが、とかく発表時間が長くなり、協議の時間が足らなくなりがちであったので、原則として発表者

は開催県と開催県外からおのおの名ずつ依頼することにして、(21、22、45、46、47班は県外2名)

また、発表者は各都道府県・指定都市の代表として関係研究主題、研究の観点に基づいて発表していただきたいと考えるので発表者の選定にあたって、都道府県や地域の実情や対策に基づいた発表がなされるよう配慮願いたい。

なお、参加者も事前研究のうえ、参加する班の課題についての研究資料を必ず提出し、全国的な研究が推進されるよう協力願いたい。そのため班別の研究発表も制限しているのである。

司会者は、開催県から2名あて選出し、指導助言者は第9領域をのぞき県内1名、県外1名を依頼することになっている。

(2) 領域別研究会

領域別研究会は、大会3日目の午前中をあてているが、細分化された個々の班別研究会の結果をお互い知りたいし、また、領域全体の共通課題の解決も必要であるので、次の日程で、効率的な領域別の会を行ないたいと考える。そのために、班別研究会の結果については、苦勞は多いが速報を刊行して、領域別研究会の始まる前に会員に配付し、時間の節約と領域別の会の成果を高めることにしたい。

○開会のあいさつと役員紹介 9・30

○領域別全体協議会 9・40

○班別研究会より提案された問題 10・30

○休けい 10・30

○指導助言者の指導講話 10・40

良い子強い子! 強力 **パンビタンA**

くすりぎらいのお子さまに

パンビタンペレ

パンビタンペレ チョコレート

他に…疲れの激しい方に強力パンビタンゴールド・赤ちゃんの健全な発育にパンビタンA液

期日	時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17
前日	21日(金)		受付	モデル校視察			職域別の会合①			
前日	21日(金)		日本学校保健会 評議員会				受付	班別運営打合せ会 大会運営説明会		
第一日	22日(土)		受付	開会式 表彰式	昼食 (郷土芸能紹介)	記念講演	全国学校保健協議大会			
第二日	23日(日)	受付	班別研究協議会		昼食	班別研究協議会		職域別の会合②		
第三日	24日(月)	受付	領域別研究協議会		閉会	モデル校視察				



城山より鹿児島市街・錦江湾・煙をはく桜島を望む

県内1名、県外1名の指導助言者より、領域の問題点について、じゅうぶん指導をうける。

○大会閉会式
領域別の閉会式をもって、大会閉会式に代える。 11・30

3、大会日程
本大会においては、研究主題と研究の観点に基づく班別、領域別研究会のほかに、各都道府県・指定都市から日本学校保健会に提出された協議題を審議する全国学校保健協議大会、開会式・表彰式、記念講演、職域別の会合などについて文部省や日本学校保健会等と密接な連携を保ち

学校保健関係者の総意を結集することに努めたい。

4、県別参加割当てと参加上の留意事項
本大会をわが国の学校保健研究推進の権威ある大会とするためには、まずもって参加者が自覚と責任をもち、意欲的に参加する必要がある。事務局としても確実に参加者をは握して準備を進めなければならない。そこで各県最低20名は参加していただくこととして、過去5ヶ年間の大会参加状況や地域等を考慮し、下表のとおり参加割当てをした。

本大会の参加は、この割当てを厳守し、自由参加は認めないことになっているので協力いただいた。なお参加については、会費一、四〇〇円(22日・23日の中食代を含む)及び宿泊予約金1泊五〇〇円(1泊2食付一、七〇〇円)を添えて、7月31日までに大会事務局に申込むことになっている。詳細については4月中に各都道府県・指定都市教委に送付

する大会要項を見ていただきたい。なお研究発表者ならびに指導助言者の割当ても同時に行なう予定である。

本土最南端の鹿児島県は、太陽と緑の国として、その自然と人情は、遠路はるばる参加される会員の旅情をなぐさめるに十分である。

大会事務局としても、開催準備に全力をあげ、わが国学校保健振興に寄与したいと考えているので、全国の関係者が多数来鹿され、実り多い大会となるよう願っている。

沖繩	神戸市	京都市	横浜市	大分県	長崎県	福岡県	愛媛県	徳島県	広島県	島根県	和歌山県	兵庫県	京都府	三重県	静岡県	長野県	福井県	富山県	神奈川県	千葉県	群馬県	茨城県	山形県	秋田県	岩手県	北海道
(5)	(25)	(25)	(30)	(35)	(30)	(53)	(30)	(20)	(60)	(25)	(25)	(30)	(30)	(60)	(35)	(20)	(30)	(40)	(70)	(30)	(30)	(30)	(20)	(47)	(20)	(40)
計	北九州市	大阪市	名古屋市	宮崎県	熊本市	佐賀県	高知県	香川県	山口県	岡山県	鳥取県	奈良県	大阪府	滋賀県	愛知県	岐阜県	山梨県	石川県	新潟県	東京都	埼玉県	栃木県	福島県	宮城県	青森県	
(9,900名)	(35)	(35)	(25)	(35)	(50)	(30)	(20)	(30)	(25)	(35)	(20)	(25)	(80)	(25)	(75)	(40)	(20)	(35)	(20)	(210)	(25)	(20)	(30)	(20)		

＊歯グキまで美しく健康にする…ローリングライオン歯ブラシ

〈ライオンのローリングとハッキリご指名ください〉



●デラックス型(豪華なハブラシ掛兼用ケース入り)200円 ●スペシャル型100円 ●ジュニア型(お子さま用)50円

文部大臣に陳情

第1回全国学校保健協議大会の集約

第1回の全国学校保健協議大会は昨秋の岐阜の全国学校保健研究大会の際に開催されたのであるが、この協議の運営法について、開会員頭に議長団から、この協議大会は、陳情要望本位にせず、できるだけ協議本位、意見の交換本位にしたいとの提案があり、一同これに賛成し、事後処理については、議長一任ということになった。

協議題は19題あったが(前号に掲載)協議を終ってみると、結局当局に要望しなければ解決のつかない問題が残ったので、議長団で協議結果をとりまとめ要望書を作り、文部大臣に陳情することとなった。わが国の現状ではまだまだ陳情要望を必要とするので、その意味でも研究本位の大会だけでは足りないところがあり、協議大会が生まれる素地があるわけであろう。

去る3月31日、協議大会の議長団を代表して、岐阜県学校保健会長服部貴芳氏と本会副会長塚田治作氏が文部省を訪問して、文部大臣あての要望書を提出した。次にその全文を掲載する。なお提出者名義は次の4名である。

- 協議大会会長 栗山重信
日本学校保健会会長 同 議長団
岐阜県学校保健会長 服部貴芳
愛媛県 笠置正義
鹿児島県 花牟礼淳二郎
要望書全文は次のとおりである。

要望書

学校保健法が制定されて以来十年を経過し、年とともに学校保健の進展を見つづけますことはまことに喜びにたえません。

しかるところ、学術文化の進歩ならびに社会環境の急激な変化にともない、学校保健のうえにも、多くの早急に解決を迫られている問題が提起されつつあることは、学校保健関係者のひとしく認めるところであります。

この時に当たり、昨秋11月、全国の学校保健関係者が集まり、岐阜市において、第1回全国学校保健協議大会を開催いたしましたのであります。この大会での全国的の声を集約いたしますと、現行の法規中には、現状に即さない点があり、早急に法規の改正をせられ、次代を荷なう健全な青少年の育成に資する必要があると

- 文部省 学校保健課
昭和44年度行事予定
- ① 学校保健・学校安全事務担当者打合せ会 4.17-18 東京都
 - ② 保健担当指導主事研究協議会 4.24-25 東京都
 - ③ 学校保健講習会(校長,主事) 5.8-9 東京都
 - ④ 交通安全指導者講習会 5.26-27 東京都
6.2-3 京島賀根
6.9-10 滋島
 - ⑤ 養護教諭講習会 5.29-31 東京都
10.2-3 山重
10.6-7 三
 - ⑥ 交通安全指導管理研究協議会 10.15-16 東京都
 - ⑦ 学校保健技師連絡協議会 10.23-24 東京都
 - ⑧ 第19回全国学校保健研究大会 11.22-24 鹿児島県
 - ⑨ 養護教諭研究協議会 12.4-5 愛知県

1、健康診断票の改訂とその内容について
小・中学校で使用される健康診断票は、全義務教育期間を通じて一貫したものにし、とくに尿検査及び心臓疾患の発見のための検査項目を加えたい。

2、学校環境衛生基準の法制化の促進とそれに要する経費の予算措置について
学校環境衛生基準を法制化し、保健室の備品その他学校環境衛生に関する規格を明示し、その整備充実に要する諸経費を予算化せられたい。

3、保健主事の身分を確立し、保健主事及び養護教員の職務の内容を明確にせられたい。
4、養護教員の定数を学校規模別ならびに校種別に増加せられたい。

5、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の待遇改善を図られたい。
以上の要望に対して、文部省学校保健課の田課長は、大要次のような意見を述べられた。
各要望はいずれも目下連続開催中の保健体育審議会における審議事項に含まれているので、いずれ同審議会から答申されるものと思う。
尿検査と心臓疾患検査は当然必要だと思いが、在学中ある学年に重点的に実施してはどうか。
環境衛生基準については、先に示したものはあまりに程度が高く、一般に適用するには過重のおそれがある。漸進的に実施する必要がある。
なお法規改正は必要であろう。
保健主事については、施行規則には、教諭をこれにあてるとなっているが、それが適当であって、専任とするのは適当でない。ただし任免規定や職務内容などについては、やや不明確なところがあるが、これらは近々刊行の予定になっている。「保健指導の手びき」で明らかにすることになっていく。
養護教員の定数については、現行規定は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行令」に示されているが、これは改正の方向に進んでいる。小規模校は別ワクにする必要があると思われる。
医歯薬三師の待遇改善については常に努力しているが、思うように進展しないのは残念である。手当ては交付金として地方に流してあるため地方により相当の格差を生じているが、これを補助金とすることは今のところ不可能である。

のめる水で泳ごう!

厚生省指定法定消毒薬
食品添加物合成殺菌料

日曹ハイクロン

学校保健会御推薦品

特長

- プールの清掃、殺菌
- プールの殺菌、消毒、殺菌
- 飲料水の殺菌、消毒



日本曹達株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-4 (211)2111
支店 大阪市東区北浜2-90 (203)3151

第2回

全国学校保健協議大会の開催(予告)

昨秋岐阜県における全国学校保健研究大会の際、第1回の全国協議大会を開催したが、今秋の鹿児島県大会において、第2回の全国協議大会を開催する予定である。その要項大要は次のとおりである。

主催 本会

鹿児島県学校保健会

後援 文部省

鹿児島県教育委員会

期日 11月22日 14・30-16・30

研究大会第1日記念講演に引き続き開催する。

会場 鹿児島県体育館(主会場)

参加者 研究大会参加者全員を対象とする。

協議題

○内容 学校保健の振興について、全体的立場で協議したい問題、かつての全国保健大会の人的・物的領域の協議題やその他とする。

○協議題の提出 都道府県、指定都市ごとに協議題を提出する(少なくとも1題は提出されたい)なお提案理由および提案者職、氏名を添付すること。

○協議題の提出先 鹿児島市小川町3-56 県合同庁舎鹿児島県教育委員会体育保健課内 県学校保健会事務局あて

○提出締切 9月20日(期日厳守)(備考) 提出の協議題は調整する場があるため、あらかじめ

ご了承願いたい。

昨年度の協議大会は、3回ほど地方の学校保健会を通じて周知方に努めたのであるが、徹底しなくて、記念講演が終わると、司会者から再三引き続き協議大会のあるむね放送したにもかかわらず、大部分の参加者は退席したにとどまった。

今回は協議大会の開催要項を、研究大会要項と同封で、開催県から全国に流していただくことになっていくので、周知が徹底されることと思うが、多数の方々が参加されて、この協議大会を成果あるものにしていただきたい。

離島における学校歯科活動

軌道にのった出張診療五ヶ年計画(その四)

東京都学校歯科医会々長 亀沢 シズ エ

島に来るたびに思う事だが、島の生活にどうやら慣れ、子供達とも親しい会話が出来るようになって来た。一年間のお別れの時がすぐ来る。もう少しゆっくりに腰をすえてやりたい気持ちをおさえ見送りの人で「ばいばい」の舟着場へ足を向けた。「くさや」の御土産を沢山仕入れ、山登りスタイルの我々一行は小中学校長、教育委員会、地元の人達に名残りを惜しんで来た時運ばれたハシケに荷物と一緒に積み込まれエメラルドの海を渡って本船へ乗り移った。新造船ではあったが小さい座席しかなく、横

全国大会は、かつては研究と協議の両者を含んでいたのであるが、42年度の大愛媛大会から純粋の研究大会と性格を変えることとなった。たしかにこれは時代に相応した一進展と云うべきであろう。ところがそのところが一般に知れてくると、やはり全体的な協議がほしいという要望が各方面から出てきて、その年ややおくられて早急に計画を進め、学校保健連絡協議会という名称で、とにかく協議会を開いた。昨秋の岐阜大会では、第1回協議大会と銘をうって開催し協議大会の性格を確立したわけである。

全国大会は、研究大会と協議大会と職域大会の三者相まって、はじめてその成果をあげることができるとあるということが、今後いよいよ立証されることを期待する。

になる事が出来ない状態で疲れた身体をもてあました。一行の表情は肉体の重みとは反比例に責任を果した安堵の気持で肩は軽かった。土産の「くさや」は美濃部知事さんをはじめ知友の方々に大変喜ばれた。さて帰ってからは多数の資料作製と統計整理にまたまた大仕事を強いられた。結果の分析と来年度の計画、次々と出て来る新しいアイデアに行は大張切り、仕事も順調に進んだ。昭和43年度離島「新島・式根島」児童生徒の歯科診療について ○実施方法と対象

主催

東京都学校歯科医会
東京都教育委員会

診療の対象学校

新島本村教育委員会管内の児童、生徒、新島小学校、新島中学校、若郷小学校、式根島小学校、式根島中学校

検査人員(診療)

	男	女	計
新島小学校	128	102	230
若郷小学校	26	23	49
式根島小学校	41	35	76
新島中学校	115	107	222
式根島中学校	28	23	51
合計	338	290	628

診療科目

A、永久歯のC₁、C₂に対するアマ
ルガム充填、C₁の診断については、う歯予防原則の(3)初期う蝕の予防的処置の主旨にもとずいてステイツキーな感覚のあるカリエスを底辺として診断、白歯を対象として充填を実施した。

B、交換期乳歯の抜歯

診療班

東京都学校歯科医会離島診療班

診療日程

昭和43年5月12日より16日まで

診療場所

新島小学校、若郷小学校、新島中学校、式根島中学校

診療方法

予診→トルクス(本年は3台)による窩洞形式→充填→抜歯、と流れ作業により実施。(つづく)

☆ 明日のために ☆
☆ 今日ものむ ☆
☆ ポポンス ☆
☆ シオノギ製薬 ☆

1度に 4種類の尿検査ができる!
尿のpH・糖・蛋白・潜血に対する
"Dip and Read"方式試験紙。
ヘマコンビステックス
販売元 三共株式会社
製造元 AMES Co., Inc.

近視予防の一実験

—書見台使用による—

熊本短期大学教授 内田 守

宅でも、読書および写字の場合に使用せしめた。白川中学校においては、田尻学級の一年生全員48名に小学校同様書見台を使用させ、毎月視力検査を行なった。

書見台の使用実験は一か年で中止され、その後二ヶ年を経過し、昭和42年6月に実験結果の調査を行なった。託麻原小については、その後中学1年時と3年時の春の視力検査の個人データを追跡した。またコントロールとして、同小学卒全員の視力を調査した。白川中の方は40年および41年春の視力検査ならびに42年2月卒業前の視力検査のデータを参考とした。

文部省発表の健康診断の統計を見ると、むし歯と近視眼とは最近年々増加を示しつつあって、学校保健上の重大問題となっている。そこで少し古い実験ではあるが、書見台使用による近視予防についての実験結果を報告して、ご参考に供したい。

まず熊本県教育委員会の協力により、実験学級を託麻原小学校、白川中学校、第一高校及び商大付属高校に設定し、合計二〇〇余名について近視予防と弱度近視の治療目的に、書見台使用の実験を行なった。実験期間はわずか五カ月であったが、相当の見べき成果を認めることができた。この成績は、北海道札幌市で開催された第21回日本公衆衛生学会で発表された。そして二年後の今日、追跡調査を行なった。

託麻原小及び白川中での実験
託麻原小学校においては、昭和39年4月森本学級の6年生全員39名に書見台を貸与し、授業はもちろん自

実験成績は、託麻原小および白川中において、1年間書見台を使用したクラスでは、もとよりの近視者を除いては、新たに近視になったものは1名もなかった。すなわち書見台の使用は、1か年くらいで中止しても、近視予防上有効であるように思われる。

第一高校および商大付属高校での実験

第一高校においては、保健主事の山城教諭が、商大付属高校では高田養護教諭が、熱心に書見台の使用実験にとりくみ、生徒たちを督励してくれ、第一高校で70名、付属高校で24名の、5か月間の効果を観察することができた。書見台は学校および自宅において始終使用するよう指導した。

実験成績は、両校ともに、0.9—1.0の仮性近視が、各2例づつ1.0に復しているのを認め、視力の向上は、第一高校で60%、付属高校で34%であった。

書見台の普及について

第一高校の場合、山城保健主事ならびに若江眼科校医の指導と、筆者の応援によって、過去3年間熱心に近視の予防と近視の治療にとり組んだ。筆者が貸与している書見台は1クラス分であり、次々と他のクラスに貸与して試用させ、販売用の書見台は、校内売店に委託して、自由に購入させている。全学年について普及状態を調査してみると、26%の生徒が自発的に書見台を購入していることがわかった。とくに書見台使用のモデルクラスのある学年の普及率は高く、校内全体に自然的に拡大している姿が認められる。また使用後の感想として、机の上がよく整理されて見やすい。姿勢がよくなった。眼が疲れにくくなった。視力がよくなった。下を向かなくてよいので、首が疲れにくい。使わない時に比べて、書写の能率がずっとよい。勉強の能率が上がった。等々であった。

薬物並用による近視治療の結果

近視は治療すべきものでなく、予防すべきものである。

ではすでに仮性近視にかかっているものはどうすればよいか。それについてはミドリン点眼とピタミンB₁の服用の効果が云われているので、筆者も第一高校および商大付属高校

に試みて、相当の結果を見ることができた。また望遠訓練や水晶体操を毎日行なうと、仮性近視の予防と治療に効果がある。

しかしこのようなことを行なうと一時は効果を収めた上の両高校とも、いつのまにか近視が再発してしまい、続行する熱意の者がほとんどなかった。極めて軽度の初期の者をスカウトして2年間も続いて書見台を使用せしめれば、完全に再発を防げるのではなからうか。この点学級担任の先生方のご協力を期待する。なおこの種の実験データがあればご発表願



書見台を使用して学習する託麻小学校6年生

臨海、林間学校、運動会に備えて/
最も実績と定評のある

レスバッグを{日本学校保健会
御推薦品(第140号)}

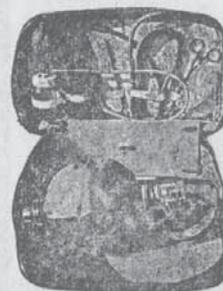
医療用具製造厚生省承認番号(40B)No.227

定価 ¥16,500 送料¥300

全国の医療器械店(又は教材教具店)が御取扱致します。幣社へ直接御注文の場合は下記へ。

振替口座 東京44243 {三和銀行本郷支店
第一銀行支店}

救急用人工蘇生器



◎パンフレットA 長谷川医博著
(学校に於ける救急処置の実際) ¥170

◎パンフレットB 古橋医博著
(知っておきたい新しい救急蘇生法) ¥120

上記御申込は郵便切手で可(送料サービス)

(株)杉山元医理器製作所

東京都文京区本郷2丁目34-9
電話 東京(03)(814)代表 0285~8

全国学校医研修会 予告

期日 6月21日(土) 22日(日)
場所 東京都市ヶ谷保健会館
講師及び講題
新しい学習指導要領と学校保健

文部省学校保健課長

田 健一氏

学校から見た好ましい学校医像

東京都北養護学校長

下田 巧氏

学校医として知っておかなければならない精神衛生

東京都台東区精神科学校医

田久保 讓氏

学校保健研究紀要

希望の方に

本会発行の「学校保健研究紀要」60部ないし70部を、去る2月中旬、全国都道府県、指定都市学校保健会を通じて、学校保健関係各方面に無料配布したことは本紙前号で報告した。すでに入手された方もあることと思われるが、もしご希望ならば一応都道府県・指定都市の学校保健会に照会され、品切れの節は本会に直接申込みたい。本会にも残部少数につき、すべての申込みに応じられるかどうかかわからないので、往復はがきをもって申込みると、早速お返事をする。個人申込みを原則とするが、団体申込みの際は、使用目的を明記してほしい。

内容は左記のとおりである。
ページ数 B5版 二四八ページ
執筆者 約40名
題目及び編集代表者

一、児童生徒の循環器疾患の予防に関する研究
日本医科大学教授
村上 勝美氏

二、児童生徒の虫歯予防に関する研究
日本学校歯科医会会長
向井 喜男氏

三、小・中学校の環境衛生に関する日常生活の研究
東京歯科大学教授
竹内 光春氏

四、小・中学校における純潔教育のあり方に関する研究
国立公衆衛生院部長
久保 秀史氏

編集代表者は上記のとおりであるが、実際の執筆者は広く学界から、教育委員会、現場の学校にわたってあり、資料も新しいものを用いて、各方面において研究の参考資料となり、また教育実践上の資料となるよう期待している。ただしこの紀要はテキストでなく、あくまで研究紀要であるから、その点を十分に理解のうえ利用されたい。

東京学芸大学教授
元山 正氏

横浜国立大学教授
間宮 武氏

本会

ニュース

○学校保健用品推薦委員会開催
3月25日日本会事務所で開催した。新規申請品3点は目下東京都薬剤師会研究室で品質検査中。更新14点は別記のとおり推薦決定。

○鹿児島大会開催に関する協議会
去る3月28日鹿児島県教育委員会

学校保健用品 推薦公告

昭和44年2月28日付及び3月25日付左記品目につき、学校保健用品適切品として推薦状を交付した。(有効期間1か年)
左記全部推薦更新

1、ネオペレックスK 10kg入

2、同 L 100

3、同 L 500

4、ファミリー業務用 18/4/4入

5、三共エームス簡易検査試薬 東京 花王石鹼KK

6、エクリンテスター(塩素測定器) 東京 三共KK

7、日曹ハイグロン 東京 理工協産KK

8、ポキール(錠・液) 東京 日本曹達KK

9、カワイ肝油ドロップ 東京 河合製薬KK

10、ホルム錠 大阪 田辺製薬KK

11、イソジン液(傷口消毒剤) 東京 明治製薬KK

12、アンダーパット(生理用品) 奈良 大和商会

13、アンネジュニアセット(生理用品) 東京 アンネKK

14、スタンレー電気血圧計 東京 スタンレー電気KK

4、醸出金の増額について
会計が極めて窮屈なので、今秋の評議員会に、醸出金の増額案を提出することを議決した。

かねて岐阜県学校保健会の手で、協議大会の記録の整理を進めていたが、本会と協議のうえ、文部大臣に対する要望書を作成し、別記のとおり去る3月31日文部省に提出した。

○理事会開催
日時 4月25日 14:00-17:00
会場 虎ノ門共済会館
議事
1、昭和43年度事業報告・決算報告
2、同 44年度事業計画案、予算案
以上原案どおり承認可決された。
3、役員選出(別項参照)

純良医薬 第一製薬

グラム陰性菌・桿菌に
強い抗菌力・抗感染力を発揮!!

〈新合成・抗菌製剤〉

カイトマイロン®

健康教育に…ビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目